

NEWS RELEASE

2026年9月18日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027が「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」に参加 隈研吾氏がデザインしたモニュメントで「自然と社会の調和」を表現 ～川崎から岐阜、京都、そしてGREEN×EXPO 2027へ～

GREEN×EXPO 協会（正式名称:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、会長:筒井義信、所在地:横浜市中区）は、2026年9月18日（金）から開催される、第43回全国都市緑化フェアin京都丹波に参加し、GREEN×EXPO 2027のPR出展を行います。（横浜市・神奈川県・第38回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会・GREEN×EXPO 協会の共同出展）



GREEN×EXPO 2027 PR 出展（場所：京都・亀岡保津川公園）

今回のPR展示でも、大地から力強く芽吹く樹木をイメージしたモニュメントと、花壇は丹波の山並み、田畑の穂波を背景に「心を満たす 花の波の爽やかな景色を展開」をテーマに演出します。また、植物や生き物が時とともに姿を変えながら共生する風景を通じて、「自然と社会の調和」というGREEN×EXPO 2027の

理念を表現しています。

展示のシンボルとなるモニュメントは、2024年秋開催の全国都市緑化かわさきフェアで制作・展示されたものを起点に、全国都市緑化ぎふフェアを経て、今回の京都でのPR展示へと受け継がれてきました。さらに今後はGREEN×EXPO 2027の会場での展示も予定しており、全国都市緑化フェアからGREEN×EXPO 2027へとつながるレガシーを象徴する展示となっています。

モニュメントは、GREEN×EXPOラボ マスターアーキテクトを務める隈研吾氏（隈研吾建築都市設計事務所）のデザインのもと制作しました。移動・組立・解体・保管・再利用が容易なフレキシブルジョイントシステムを採用しており、設置環境に応じて形状を変化させることが可能です。繰り返し活用できる仕組みによって環境負荷を抑えながら、自然と共生するこれからの建築のあり方を提案しています。

また、モニュメントに使用する木材には、持続可能な森林経営に取り組む神奈川県立吉田島高等学校と連携し、同校演習林の木材を活用しています。地域資源の循環利用や次世代人材の育成にもつながる取組として、GREEN×EXPO 2027が目指す持続可能な社会の実現を体現しています。



●第43回全国都市緑化フェアin京都丹波概要

名称 第43回全国都市緑化フェアin京都丹波

愛称 京都丹波みどりの里まつり

主催者等 提唱：国土交通省

主催：京都府、亀岡市、南丹市、京丹波町

（公財）都市緑化機構

開催期間 令和8年9月18日（金）～11月8日（日）：52日間

テーマ 食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」

HP <https://kyototamba-fair.jp/>



京都丹波
みどりの
里まつり

シンボルマーク

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエキスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	横浜市瀬谷区・旭区 (旧上瀬谷通信施設)
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日) 192日間
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」